

ENSEMBLE PRINCIPI VENETIANI

アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ



MONDUS NOVUS

16, 17世紀 スペイン・南米の音楽

新大陸発見後、スペインと南米の文化が融合され、生まれた音楽。リズムカルな南米と情緒豊かなスペインの音楽の世界。

2015. 12. 18. fri. 19:00 start / 18:30 open

京都文化博物館 別館ホール

Member

進元 一美	歌
大内山 薫	バロックヴァイオリン
上野 訓子	コルネット
淡島 宏枝	ドゥルツィアン
飯塚 直	リコーダー／パーカッション
頼田 麗	ヴィオラ・ダ・ガンバ
小出 智子	リュート／ヴィウエラ
笠原 雅仁	歌／バロックギター／ディレクション

Program

おお、偉大なる神秘
O magnum mysterium
私の肌は黒く美しい
Yo me soy la morenica
ランチャス
キリスト誕生の歌
Lanchas
Chacua Duo Nascimento
2本の緑のポプラの間で
Entre dos alamos verdes

T. L. de ヴィクトリア
T. L. de Victoria
ウプサラの歌集より
Cancionero de Uppsala
マルティネス写本より
Codex Martinez
J. B. de カストロ
J. B. de Castro

チケット

前売	3,000円	当日	3,500円
学生	1,500円	友の会	2,500円

主催

アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ

チケットご予約・お問い合わせ

オフィス・プリンチピ・ヴェネツィアーニ
Email : principi-venetiani@hotmail.co.jp
Tel/Fax : 075-493-5262



京都文化博物館

〒604-8183 京都市中京区三條高倉
TEL. 075-222-0888 FAX. 075-222-0889
URL <http://www.bunpaku.or.jp>

- ・地下鉄「烏丸御池駅」下車
【5】番出口から三條通りを東へ徒歩3分
- ・阪急「烏丸駅」下車
【16】番出口から高倉通りを北へ徒歩7分
- ・京阪「三條駅」下車
【6】番出口から三條通りを西へ徒歩15分



ENSEMBLE PRINCIPI VENETIANI

コルネット奏者の上野訓子と声楽家の笠原雅仁を中心に、フランスのパリにて結成され、ヨーロッパの主要なバロックオーケストラや、アンサンブルとの共演やCD、テレビ、ラジオ収録に多数参加するなど、ルネサンス～初期バロックの音楽、特にイタリア音楽やイタリアに影響を受けた(イタリアの様式を受け継いだ)ドイツ音楽などのレパートリーを中心に演奏活動を行う。2008年夏に拠点をパリから京都に移し、西洋の歴史や文化の発展に大きな役割を果たしたこの時代の作品を伝えるために、当時使用されていた楽器の復元楽器を用い、スタイルを突き詰めた奏法を追究する。古楽をただ演奏するというだけではなく、当時の演奏技法をより深く掘り下げて研究することで、さらに豊かな響きや音色を備えた音づくりを目指し、聴き手の方々と音楽の感動を共有できる空間を生み出していけるような活動を行っている。

PROFILE

進元 一美 歌



京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学院修了。第3回KOBÉ国際学生コンクール入賞。在学中よりバロック音楽に興味を持ち、卒業後イギリス・ダーティントン夏期講習会にてE. カークビー氏によるバロック声楽マスタークラスを受講、コンサートに選抜される。その他イタリア、フランス各国で研鑽を積む。バロックアンサンブルとの共演を含め、サロンコンサートやミュージアムコンサートに出演。ヴィヴァルディ「グローリア」、ヘンデル「メサイア」、バッハ「マタイ受難曲」などソリストも務める。2008年兵庫県立芸術文化センターにて全プログラムバロックによるリサイタルを開催。声楽アンサンブルtaco-taco singersメンバー。現在、バロック音楽を中心に演奏活動を行っている。

バロックヴァイオリン 大内山 薫



京都市立芸術大学を経て同大学院を主席修了。大学院賞受賞。博士課程にて学ぶ。在学中より京都フィルハーモニー室内合奏団などで活躍し、その後古楽の研鑽を深めるために渡欧。デンハーグ王立音楽院古楽科にてバロックヴァイオリンを寺神戸亮氏に師事、ディプロマを取得する。仏シャンゼリゼ管弦楽団より2年連続で全額スカラシップを受け古楽音楽祭Festival de Saintesに参加。福岡古楽音楽祭、北とびあ国際音楽祭など国内外の古楽音楽祭、コンサート、録音、オペラに多数出演。2011年より寺神戸亮氏とのデュオ公演を東京、大阪で行い好評を博す。現在は関西を拠点とし、バロックヴァイオリンでの演奏活動を精力的に行っている。これまでにヴァイオリンを長谷川孝一、石川誠子、久合田緑の各氏に師事。レ・ボレアード、クラシカル・プレイヤーズ東京、アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニのメンバー。

上野 訓子 コルネット



大阪音楽短期大学器楽科卒業後、コルネットを濱田芳道、B.ディッキー、W.ドンゴワ、J.テュベリの各氏に師事。スイス・バーゼルスコラカントゥルムにて学んだ後、渡仏。パリ市高等音楽院古楽科にて、コルネット奏者として同音楽院では初のディプロマ取得者として満場一致で卒業。ヨーロッパの主要古楽アンサンブルのメンバーとして、イタリア・モンテヴェルディ音楽祭をはじめ、各地の音楽祭、多数のコンサートやオペラ、録音、ラジオ、テレビに出演。2012年には渡邊順生氏のサントリー賞受賞記念コンサート、モンテヴェルディ作曲「聖母マリアの夕べの祈り」に参加。近年にはバッハ・コレギウム・ジャパン定期演奏会、CD録音に参加、またイタリア古楽協会主宰のセミナーでは「ヒストリカル・インプロヴィゼーション」をテーマに指導を行うなど多様な活動を展開している。

ドゥルツィアン 淡島 宏枝



相愛大学音楽学部卒業。同大学研究課程修了。在学中、モーツァルトのバスーン協奏曲をゲルハルト・ボッセ指揮による大阪市ユースオーケストラと共演。また、テレマン室内オーケストラとハイドンの協奏交響曲、コレギウム・ムジクム・テレマンとヴィヴァルディのバスーン協奏曲を共演。モダン楽器からバロックバスーン、クラシカルバスーン、ドルチアン等のピリオド楽器によるソロ、室内楽、オーケストラの演奏活動を行う。バロックバスーン、クラシカルバスーンを二口晴一、鈴木禎の各氏に、ドルチアンを鈴木禎氏に師事。京都バロック楽器アンサンブルのメンバー。

頼田 麗 ヴィオラ・ダ・ガンバ



相愛大学音楽学部卒業。チェロを日比野忠孝、斎藤建寛の各氏に師事。ヴィオラ・ダ・ガンバ及び室内楽を平尾雅子氏に師事。ロータリー財団の国際親善奨学生としてドイツへ留学。その後スイスのルガーノ・コンセルバトリーにてV.ギエルミ氏に師事。2002年よりバーゼル・スコラ・カントゥルムに入学、P.パンドルフ氏のもとで研鑽を積む。2006年ディプロム取得。2007年ドイツの第4回テレマンコンクールにて室内楽部門ファイナリスト及び「ベーレンライター賞」を受賞。2008年兵庫県知事グランプリ賞を受賞。2000、2007、2012年にリサイタルを開催。2010年結成の「東海バロックプロジェクト」ではバロック・チェリストを務める。「ラ・キューピス」「NADESHIKO」「クロシェット」「アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ」の各メンバー。

リコーダー／パーカッション 飯塚 直



桐朋学園大学古楽器科に学ぶ。ルネサンスのダンス音楽について研究。吹き&叩き踊り、即興演奏で11～18世紀の音楽を紹介、「古楽の奏法をベースとし、それにとらわれずいま本当に心の琴線に触れる表現」をモットーにパフォーマンスする。古楽系録音参加、芝居音楽製作・出演、コンテンプラリーダンサーや映像、朗読とのフリーインプロヴィゼーションで活動。主宰デュオRhythm&Baroqueでは「0歳から自由に聴くコンサート」を企画。その他東欧・南米音楽・オリジナル曲に取り組む。また、ステップと音の関係にアプローチしたルネサンス舞踊演奏ワークショップ。声と楽器、そこで偶然生まれた音を組み合わせる音楽作りワークショップを行う。'14「音写真帖」、'15「直流(なおりゅう)」リリース。www.naokoizuka.com

小出 智子 リュート／ヴィウエラ



14歳でクラシックギターを始める。高校在学中、GLC学生ギターコンクール2位、山陰ギターコンクール入選。同志社大学英文学科卒業後、会社員生活を経て、リュートを始める。これまでに佐野健二氏、平井満美子氏、つのだたかし氏、ポール・オデット氏に師事。ソロ、通奏低音、伴奏、民族楽器との共演など、関西を中心に雑多に活動中。NHK大阪文化センター「リュートでうたうイギリスはやりうた」リュート伴奏担当。ムーミンファン歴四半世紀超

歌／バロックギター／ダイレクション 笠原 雅仁



武蔵野音楽大学声楽科にて宮本昭太氏に師事。同大学卒業後は有村祐輔氏のもとで声楽、古典音楽理論を学んだ後、1998年に渡英。ロンドンの英国王立音楽大学、大学院古楽科にてナイジェル・ロジャース、スティーブン・ロバーツの各氏に声楽を、ヤコブ・リンドベルイ氏にリュートを師事。2002年より仏国のパリ市高等音楽院古楽科にてコルネットをジャン・テュベリ氏に師事。2007年にディプロマを取得し、卒業。アンサンブル「エリマ」「カンパニー・オートルムズール」など、フランス内外の主要なバロックオーケストラやアンサンブル等と共演、またCDやラジオ・フランス、BBCの為の録音に参加するなど、特に初期バロック音楽の専門家として、国内外で活躍中。今年、舞台劇「メアリー・ステュアート」(ダーチャ・マラーニ二作)にリュート奏者として出演するなど、様々な分野での活動を広げている。「アンサンブル・プリンチピ・ヴェネツィアーニ」主宰。